

流域治水の取り組み

令和3年11月1日

国土交通省 中部地方整備局
沼津河川国道事務所

気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策、「流域治水」へ転換。

治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大 集水域

[国・市、企業、住民]

雨水貯留浸透施設の整備、
ため池等の治水利用

流水の貯留

[国・県・市・利水者]

治水ダム建設・再生、
利水ダム等において貯留水を
事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]

土地利用と一体となった遊水
機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]

河床掘削、引堤、砂防堰堤、
雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

[国・県]

「粘り強い堤防」を目指した堤
防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導／
住まい方の工夫

[国・市、企業、住民]

土地利用規制、誘導、移転促進、
不動産取引時の水害リスク情報提
供、金融による誘導の検討

氾濫域

浸水範囲を減らす

[国・県・市]

二線堤の整備、
自然堤防の保全



③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実 氾濫域

[国・県]

水害リスク情報の空白地帯解消、
多段階水害リスク情報を発信

避難体制を強化する

[国・県・市]

長期予測の技術開発、
リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化

[企業、住民]

工場や建築物の浸水対策、
BCPの策定

住まい方の工夫

[企業、住民]

不動産取引時の水害リスク情報
提供、金融商品を通じた浸水対
策の促進

被災自治体の支援体制充実

[国・企業]

官民連携によるTEC-FORCEの
体制強化

氾濫水を早く排除する

[国・県・市等]

排水門等の整備、排水強化

県：都道府県
市：市町村
[]：想定される対策実施主体

- 令和3年3月25日、第2回狩野川流域治水協議会を開催。
- 狩野川流域における外水及び内水に対し、あらゆる関係者が協働し流域全体で水害を軽減させる「流域治水」の取り組みについて確認され、「狩野川水系流域治水プロジェクト」を策定した。

協議会の様子



日時：令和3年3月25日（木）11:00～12:00
場所：プラサヴェルデ コンベンションホールB
出席者：沼津市長、三島市長（WEB）、裾野市長（WEB）、伊豆市長、伊豆の国市長（代理）、函南町長、清水町長、長泉町長（WEB）、静岡県沼津土木事務所長、林野庁伊豆森林管理署長、国土交通省沼津河川国道事務所長 他

WEB会議画面の様子



※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、換気、マスク着用、消毒、検温等を徹底して開催



狩野川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～全国有数の観光資源を有する伊豆の玄関口を洪水氾濫から守る流域治水対策～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、狩野川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 狩野川は日本有数の多雨地帯である天城山系に源を発し、伊豆半島の大小の支川を合わせ北流し、田方平野を大きく蛇行しながら各支川が加わることで水量が増し、外水による水害リスクの高い地域であることから、河道掘削等の河川整備を実施する。
- これらの取り組みにより、国管理区間においては戦後最大の昭和33年狩野川台風による洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避する。
- 加えて、令和元年東日本台風で顕在化した中上流部の内水被害に対して、国・県・市町が連携し、本川支川の河道掘削や排水機場の整備、水田貯留等の流出抑制対策、さらには安全なまちづくりに向けた取り組み等を、短期・中期の期間において強力に推進し、浸水被害を軽減する。

【位置図】



河道掘削

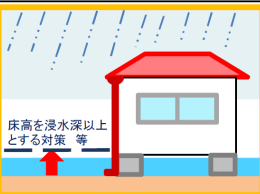


※写真はイメージ

水田貯留



砂防施設の整備



建築物の浸水対策(イメージ)

● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

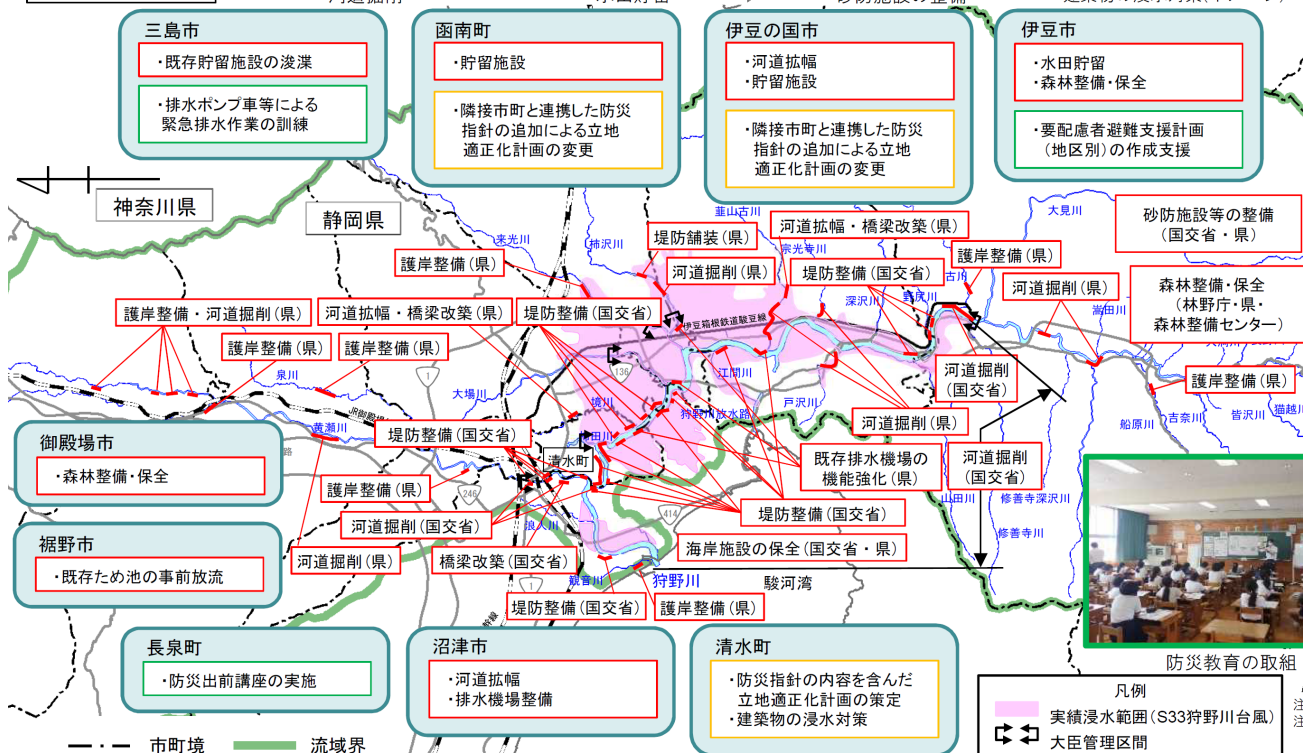
- ・河道掘削、堤防整備、河道拡幅、橋梁改築
- ・流出抑制対策 (貯留施設、水田貯留等)
- ・内水被害軽減対策 (排水機場整備、既存排水機場の遠隔操作化、近年の洪水被害軽減目標と対策を定めた水災害対策プラン*の策定等)
- ・砂防施設の整備
- ・森林整備・保全
- ・海岸施設の保全
- 等

● 被害対象を減少させるための対策

- ・防災・減災のための住まい方や土地利用の推進 (防災指針の追加による立地適正化計画の変更等)
- ・浸水ハザードエリア等における浸水対策 (建築物の浸水対策等)
- 等

● 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- ・被害軽減対策 (水害リスク空白域の解消、内水ハザードマップの作成等)
- ・住民の主体的な避難行動を促す取組 (ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、防災教育・出前講座による住民の防災意識向上のための取組、マイタイムラインを活用した訓練の実施、地区防災計画の推進、官民連携による河川情報の提供等)
- ・水防体制の強化 (緊急排水作業の訓練実施、建設業等との連携による災害復旧の迅速化・効率化等)
- ・ソフト対策のための整備 (情報収集施設の整備等)
- 等



防災教育の取組



建設業等との連携(イメージ)

※：令和元年東日本台風における沼津市、三島市、伊豆の国市、函南町、清水町での内水被害を踏まえ、被害軽減目標及びその対策内容について、とりまとめるもの。

凡例

- 実績浸水範囲(S33狩野川台風)
- 大臣管理区間

注) 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。上記の対策は代表的な事例を記載している。

狩野川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～全国有数の観光資源を有する伊豆の玄関口を洪水氾濫から守る流域治水対策～

【事業費 (R2年度以降の残事業費)】

- 河川対策
全体事業費 約160億円※1
対策内容 河道掘削、堤防整備
河道拡幅、橋梁改築 等
- 砂防対策
全体事業費 約154億円(国)※2
対策内容 砂防堰堤、流木対策等
- 海岸対策
全体事業費 約148億円(国)※3
対策内容 海岸施設の保全等

※1:直轄及び各水系の河川整備計画の残事業費を記載
※2:直轄砂防事業の残事業費を記載
※3:直轄海岸保全施設整備事業の残事業費を記載

- 狩野川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】狩野川流域の人口・資産の集中する地区での氾濫被害を防ぐため、河道掘削・堤防整備等により浸水面積の減少を図るとともに、砂防施設の整備等による土砂流出防止対策を中長期も含め実施。
あわせて、建築物の浸水対策、内水ハザードマップの作成、地区防災計画の推進、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進、マイ・タイムラインの推進を図る。
- 【中期】河道掘削・堤防整備等の推進により更なる浸水面積の減少を図る。あわせて、建築物の浸水対策、マイ・タイムラインを活用した訓練等を継続的に実施。
- 【中長期】河道掘削・橋梁改築等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。あわせて、建築物の浸水対策の実施、マイ・タイムラインを活用した訓練等を継続的に実施。

【ロードマップ】


区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、河道拡幅、橋梁改築 等	国土交通省 静岡県、沼津市、伊豆の国市	(国)令和元年東日本台風を踏まえた河道掘削の実施、下流部の堤防整備 (国)中上流部の堤防整備 (県)河川整備計画に基づく支川の河道掘削、堤防整備	(国)中上流部の堤防整備 (県)中下流部の支川の河道掘削、堤防整備	(国)上流部の河道掘削 (県)上流部の支川の河道掘削、堤防整備
	流出抑制対策(貯留施設、水田貯留等)、内水被害軽減対策(排水機場整備、水災害対策プランの策定 等)	国土交通省 静岡県、沼津市、三島市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町	● 水災害対策プラン策定	(市町)貯留施設、水田貯留の整備 (県市)排水機場の増強・新設	
	砂防施設等の整備、森林整備・保全	国土交通省、林野庁、静岡県、御殿場市、伊豆市、森林整備センター		砂防施設等の整備、森林整備・保全	
被害対象を減少させるための対策	建築物の浸水対策	清水町	(町)関係機関との連携・調整		建築物の浸水対策の実施
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	内水ハザードマップの作成	流域市町	(市町)内水ハザードマップ作成		(市町)内水ハザードマップ更新
	地区防災計画の推進	流域市町	(市町)地区防災計画の作成・推進		(市町、建設業)地区防災計画を活用した訓練の実施
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	流域市町	(市町)避難確保計画の作成・推進		(市町)避難確保計画に基づいた訓練の実施
	マイ・タイムラインの推進	流域市町	(市町)マイ・タイムラインの作成・推進		(市町)マイ・タイムラインを活用した防災教育、訓練の実施

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

狩野川: 令和3年度活動内容一覧(流域治水対策)

✓ 各関係機関における今年度の活動内容は、以下のとおりである。

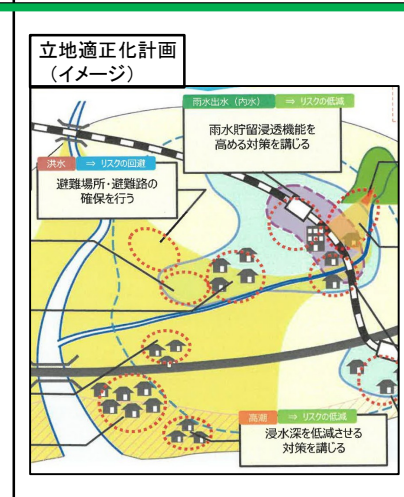
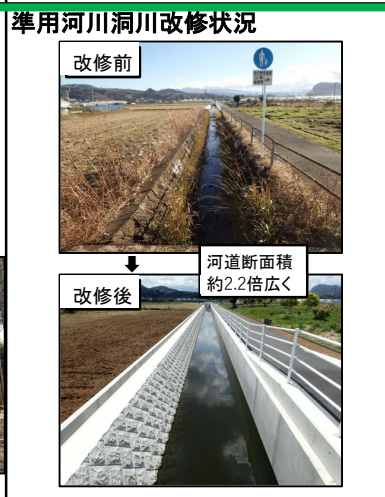
	沼津市	三島市	御殿場市	裾野市
氾濫をできるだけ防ぐための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・河道拡幅(大平江川) ・各戸における流出抑制施設に対する補助金の交付 ・雨水排水ポンプ場の整備(大平江川) ・排水ポンプの運転調整(運転開始早めるなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存貯留施設の浚渫(東小学校校庭貯留施設) 	<ul style="list-style-type: none"> ・堆積土砂掘削(高内川合流部等) ・森林整備(間伐、富士岡地区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・流木や土砂対策(市内中小河川の定期清掃) ・土砂、洪水氾濫への対策(増水危険箇所清掃、補強)
被害対象を軽減させるための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災のための住まい方や土地利用の推進(土地利用の適正指導) 			
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水ハザードマップの作成・利活用 ・マイ・タイムライン作成の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・排水ポンプ車等による緊急排水作業の訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災訓練等の実施 ・土砂災害や防災訓練などの講習会、出前講座の開催 	
イメージ	<p>各戸における流出抑制施設のイメージ</p> 	<p>校庭貯留施設 (イメージ)</p> 	<p>令和2年8月27日 御殿場市防災訓練</p> 	<p>河川の定期清掃 (イメージ)</p>  <p>土砂対策</p> 

狩野川：令和3年度活動内容一覧（流域治水対策）

✓ 各関係機関における今年度の活動内容は、以下のとおりである。

	伊豆市	伊豆の国市	函南町	清水町
氾濫をできるだけ防ぐための対策	<ul style="list-style-type: none"> 水田貯留の検討 (市内農地の適切な保全) 森林整備・保全 (間伐:市全域) 	<ul style="list-style-type: none"> 河道拡幅(洞川) 貯留施設の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 貯留施設の検討 	
被害対象を軽減させるための対策		<ul style="list-style-type: none"> 隣接市町と連携した防災指針追加による立地適正化計画の変更を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 隣接市町と連携した防災指針追加による立地適正化計画の変更を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 防災指針の内容を含んだ立地適正化計画の策定 水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者避難支援計画の作成支援 			<ul style="list-style-type: none"> 私の避難確保計画の作成 (清水町中徳倉地区)

イメージ




狩野川：令和3年度活動内容一覧（流域治水対策）

✓ 各関係機関における今年度の活動内容は、以下のとおりである。

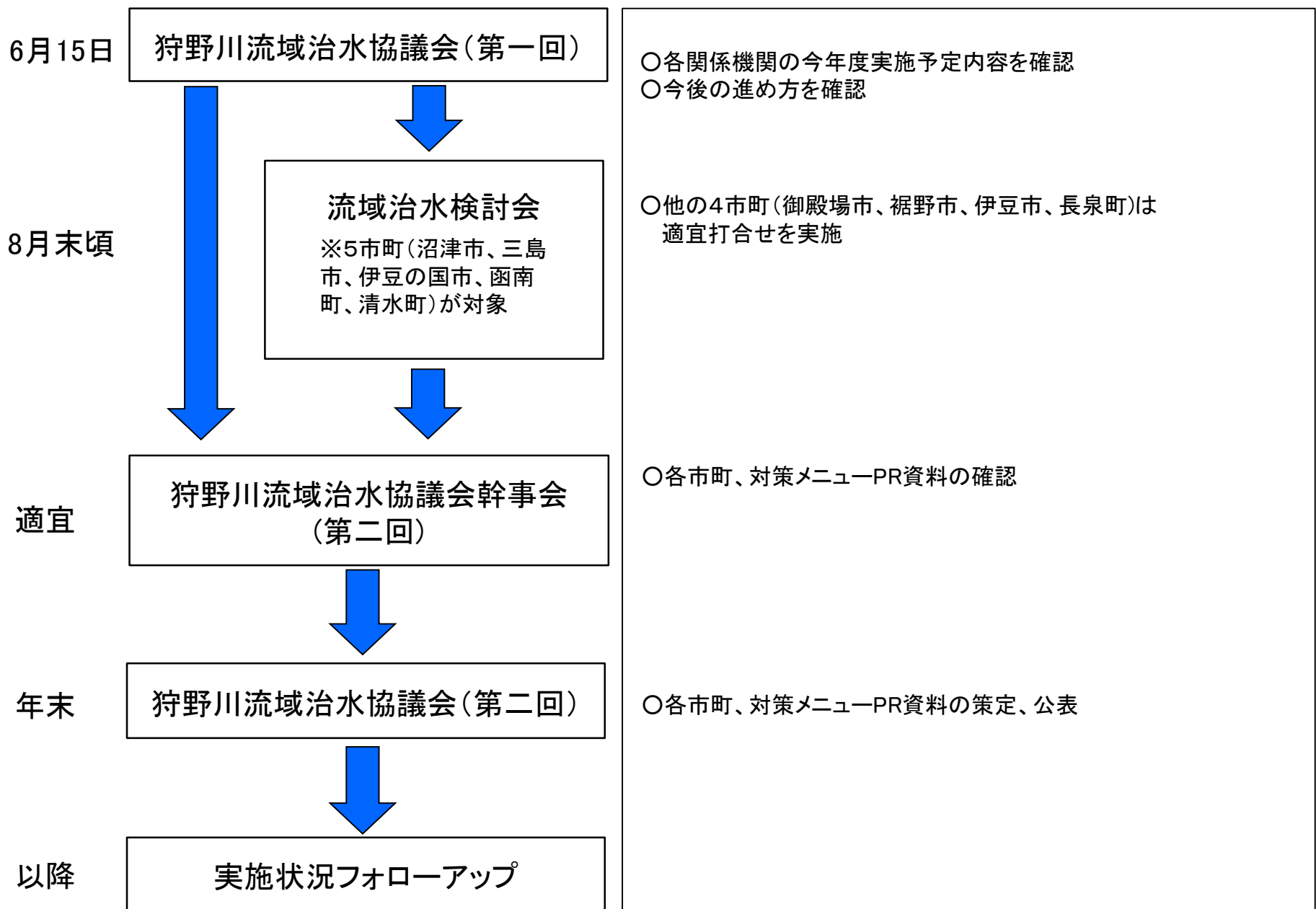
	長泉町	静岡県	関東森林管理局 伊豆森林管理署	沼津河川国道事務所
氾濫をできるだけ防ぐための対策		<ul style="list-style-type: none"> 指定区間の河川整備（境川、葦山古川、来光川、黄瀬川、狩野川指定区間） 砂防設備の整備（谷戸沢右支川） 森林整備・保全（伊豆の国市ほか） 既存排水機場の機能強化（堂川排水機場） 水災害対策プラン策定 	<ul style="list-style-type: none"> 森林整備（間伐：伊豆市湯ヶ島ほか） 治山工事（溪間工・山腹工：伊豆市筏場、滑沢、長野川） 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急河道掘削（箇所を検討） 堤防整備等（香貫大橋、的場地区等） 砂防施設の整備 海岸施設の保全
被害対象を軽減させるための対策				
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	<ul style="list-style-type: none"> 防災出前講座の開催 			<ul style="list-style-type: none"> 防災・河川環境教育の推進
イメージ	<p>防災出前講座（イメージ）</p> 	<p>境川改修状況（R2.5撮影）</p>  <p>葦山古川改修状況</p> <p>改修前</p> 	<p>間伐</p>  <p>法控工（施工例）</p> 	<p>堤防整備（香貫大橋付近）</p>  <p>堤防整備（的場地区付近）</p> 

狩野川：令和3年度活動内容一覧（流域治水対策）

✓ 各関係機関における今年度の活動内容は、以下のとおりである。

	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター静岡水源林整備事務所			
氾濫をできるだけ防ぐための対策	・森林整備・保全 (間伐)			
被害対象を軽減させるための対策				
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策				
イメージ				

今後の進め方



※今後の検討状況等により、変更となる場合があります。